

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	4470101496		
法人名	医療法人 善照会		
事業所名	グループホーム 菜の花(2F)		
所在地	大分市東鶴崎3丁目1番6号		
自己評価作成日	平成25年9月18日	評価結果市町村受理日	平成26年2月18日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	福祉サービス評価センターおおいた		
所在地	大分県大分市大津町2丁目1番41号		
訪問調査日	平成25年11月6日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

静かで落ち着いた住宅地に立地し、環境的にも恵まれている。母体の医療機関や老健と併設しており緊急時の対応を迅速に行っている。季節感のある行事を多く行い運動会は家族や地域の方々と共に楽しみ、個人の誕生日をとっても大事にしてお祝いケーキはすべて手作りしている。今年も庭の作物が豊富で特にゴーヤーのカーテンは毎日入居者の話題になる。また、PTの指導を受け楽しめるリハビリを毎日実施している。毎月ご家族や町内会に郵送したり回覧している「便り」は100号を越え、築いてきたホームの雰囲気は入居者と職員と家族の暖かい関係を物語っていると思う。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

【菜の花(1F)と同様】
--------------

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開設当初からの理念を日常的に実践するように努力している		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議での意見交換・交流をしている地域のお祭りや鶴崎踊り等の参加し、近所の商店で買い物、喫茶店に行ったりしている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や地区の行事等に参加をし、少しずつ活かす様になっている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	認知症についての理解をしてもらい取り組みについて報告し意見をもらい定例会で職員全員で情報を共有しサービス向上に活かす様になっている		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の参加・当ホームの運動会に来賓として参加してもらう事で関係がより密になり色々アドバイスを貰っている		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	代表者及び職員全体で身体拘束を理解しており出来る限りの寄り添いと見守りで、行っている又、日中は、施錠せずに外出には付き添っている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定例会での勉強会や外部での研修会に参加をし学ぶ機会を持っている管理者は日常的に職員の言動に気を配り職員も互いに注意をしあう		

事業者名:グループホーム菜の花

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	定例会等で学ぶ機会を持ち理解している過去に利用されている方がいた。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前は相談員が丁寧に説明し、契約後は管理者や職員が利用者や家族等に納得がいくまで丁寧に説明を図っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関先に ご意見箱の設置、又苦情相談の案内を行っている 家族には定期的に発行している『菜の花便り』に個別的にメッセージを添えている		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の定例会で職員全体で自由に意見を出し業務の見直しや運営に活かしている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は資格手当、時間外手当等の支給 研修会・講演会の参加を積極的に支援 資格取得への支援を積極的に支援を行っている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内での研修は 出来るだけ多くの職員が参加出来る様にし、法人外での研修は定例会で発表し質問し全体で理解しレベルアップできる様に している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県主催の講演会・レクレーション・研修会等に参加をしている 同業者との交換実習や見学ツアー等にも参加をし質の向上に努めている		

事業者名:グループホーム菜の花

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人や家族同伴で見学してもらい、納得が行くまで話し合いの場を確保し本人の安心を確保し必要があれば通ってもらう		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談員・ケアマネージャー・管理者が互いに連携し 要望等に納得が行くまで話し合いを少しずつ関係を密になる様に努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談員・ケアマネージャー・管理者が互いに連携し 本人の求められる「その時のもの」を聴き、又その経緯を聴き早急な対応が必要な方には可能な限り柔軟な対応を行っている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の「こだわり」「不安」をともに理解し 色々一緒にいながら、少しでもその人を知り、理解する様に関係を築いている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会時には自分の部屋でゆっくりとした時間を過ごしてもらっている 本人の些細な事でも報告し伝えなければならない時は早急に連絡する様にしている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の馴染みの人との手紙・電話での支援 馴染みの商店への買い物等を行い関係が途切れないようにしている		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の相性・関係性を把握し 1人が孤立しない様に職員が情報を共有している 日々さりげなく注意し見守っている		

事業者名:グループホーム菜の花

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了した方が、新たに入られた所に面会に行ったり、家族の方が近況を報告に見えたりと その後の関係が、続くように支援に努めている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	場面、場面での会話・表情を受け止め 希望・意向の把握に努めている 困難な方は昔の行い等を家族にも確認しながら職員で検討している		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フェイスシートの作成や個人のバックグラウンドを家族に聞き、又併設施設からの情報、関係者からの情報からの経過等の把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員間の情報交換を共有し、経過記録には分かりやすくその人の言葉で記録する 定期的なケアカンファレンス等で現状の把握に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族・かかりつけ医からの意見・情報を反映し 本人の好きな事・楽しみな事を介護計画に盛り込む 家族にも事前にケアカンファレンスの日程を告げ参加してもらう		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の排泄表、食事量等を作成し、日々の状態・変化を記録する 職員の気づき等も個別記録に入れ、職員間で情報を共有し介護計画の作成、見直し等に活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状態や家族の状態等に合わせ柔軟に対応している面会の延長や受診の付き添い等も支援をしている		

事業者名:グループホーム菜の花

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に地域包括支援センターの職員も参加する様になり、より地域資源の情報が入り、安全面では非難訓練時の消防署との関わり近所の美容院の利用、商店への買い物を楽しむ		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医院の他 歯科医との関係を築き又、家族の希望を大切に希望する医療を受けられるように 支援をしている		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	当事業所には看護職員が配置されており常時、本人の健康管理や状態変化に応じた支援をしている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には 安心して治療が出来る様に本人の介護状態の情報交換をし事業所内で対応可能な段階になれば早期に退院できるように病院関係者とのより良い関係作りに努めている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に 重度化した場合や終末期のあり方について説明を行っている 重度化に伴う 意見確認書を交わし 事業所が対応し得る最大の支援について説明を行っている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応の勉強会を担当医の基、に置き定期的に行い AEDの設置をすると共に勉強会も行い実践力をつけている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	法人全体でマニュアルが作成されており、消防署の協力・指導の基 年2回の避難訓練を実施している		

事業者名:グループホーム菜の花

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	定期的な勉強会やケアカンファレンスの折に利用者1人ひとりの誇りやプライバシーを損ねない様に職員の意識向上を図る様にしている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者に合わせた声かけを行い自己決定の際には本人が決定しやすい様に2, 3例をあげ選択しやすい様に働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1人ひとりのその日の体調やモチベーションをくみ取り外出や行事等に参加したりと希望に添って支援を行っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣服の選択等は本人の意向で決定しており職員は見守りで支援し、本人決定が困難な方には職員と一緒に見立てる等 支援をしている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	1人ひとりの力量に あわせ準備・お茶入れ・あと片づけ・食器拭き等を一緒にしている 利用者と職員が一緒にテーブルを囲み和気あいあいと食事をしている		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1人ひとりに合わせた食べ物の形態・嚥下状態にあわせたとろみの使用等を行っている 管理栄養士による献立の作成 食事量のチェックを記録し各自の摂取量を把握している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に歯磨きの声掛けを行い本人の能力に応じた口腔ケアを職員が介助を行ったり又見守ったりと支援を行っている		

事業者名:グループホーム菜の花

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	1人ひとりの排泄チェック表を作成し、本人の力、排泄パターン、慣習を把握しトイレ誘導をすることで、トイレでの排泄を促している状況に応じてリハビリパンツ、尿とりパット、オムツで対応している		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事には食物繊維が多い物、乳製品を取り入れている 日常的に散歩、リハビリ体操を適度に取り入れ自然に排泄が出来る様に取り組んでいる		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴は毎日実施している 順番表を作成し入浴が楽しみになる様し浴槽での立位が困難な方には簡易リフトを設置したりと 快適に入浴が出来る様に支援をしている		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人ひとりの体調、希望、表情を考慮してゆっくり安心して休憩が取れる様にしている 又 出来る限り日中の活動を促し生活のリズムを整える様に努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	1人ひとりの処方箋を整理し 常時閲覧出来る様にしている 服用時には職員同士が名前のダブルチェックを行い 間違いのない服用に努めている 又服用の際は確実に服用出来たか確認をする		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の行きたい所や近所の喫茶店に甘い物を食べに出掛けたりしている 1人ひとりの力が発揮できる様に得意分野を把握し家事や畑作り等を実施している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	気候の良い日は散歩に出掛けたり車で出掛けたり植物園に出掛けたりと季節の風が感じられる様に家族の協力も得ながら戸外に出掛ける様に支援をしている		

事業者名:グループホーム菜の花

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の中には少額のお金を自分で管理をし買い物に行き自分で支払う人もいる		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の中には国外に住んでいる兄弟に手紙を書く人もスムーズに行える様に支援をしている 家族や友人に電話をしたい人が気持ちよく電話をしたり 声が聴きたい人には職員がダイヤルを回したり支援をしている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	調度品や飾り付けは懐かしく感じられる使いやすい物を置いている 四季が分かりやすい様にその時期の花を飾ったりと穏やかになれる様に支援をしている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下の隅にリビングとは違う椅子を置き そこで新聞を読んだり気の合う人同士で話したり出来る様にしている 玄関にはベンチを置き風を感じながらゆっくり出来る場所を確保している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた筆筒 ご主人様の仏壇等又家族の写真可愛がっていたペットの写真等が持ち込まれ 居心地良く過ごせる様にしている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	何が分かりにくいのか、どうしたら本人の力でやれるのかを追求し自立した生活が出来るように状況に合わせて環境の整備に努めている		